

板橋産連 ニュース

第1150号

2014・3・1

発行：一般社団法人 板橋産業連合会

板橋区仲宿54-10 ☎(3962)0131

FAX(3962)0133

協力：板 橋 区

NEWS

- ◆ 経営セミナーを開催しました
- ◆ 平成26年度雇用保険料率及び石綿一般拠出金について
- ◆ 省エネ設備支援策のご案内
- ◆ 東京商工会議所の表彰を受けました
- ◆ 東京スカイツリー地下施設見学会報告
- ◆ 平成26年度の年金額が0.7%下がります
- ◆ ODF'14において企業紹介ブースを設置しました
- ◆ 板橋産連主な予定とお知らせ

「事業再生人が教える会社継続・承継の技術」セミナーを開催しました

2月5日(水) 事業再生に定評のある(株)事業パートナー 代表取締役 松本光輝氏を講師に迎え、標記セミナーを開催しました。

講義は、経営者が混同しがちな事業承継対策と相続対策の違いから始まり、事業承継とは何を目的とすべきなのか、事業承継対策に必要な期間やその具体的な方法についてご自身の経験も踏まえた内容でした。

そのほか、この2月1日より適用開始となった「経営者保証に関するガイドライン」にも触れ、会社の与信状況によっては連帯保証人をはずす事が可能であること等々、あっという間の2時間半でした。

当日は20名が聴講し、質疑応答では、自社の事例などさらに踏み込んだ事柄についての質問が出るなど有意義な講習となり、このテーマについて継続開催を希望する声も出るほどのセミナーでした。



東京スカイツリー地下施設見学会報告

2月19日（水）に板橋環境管理研究会主催の東京スカイツリー地下高効率冷暖房システム見学会を39名様にご参加いただき開催いたしました。

温水・冷水を送る地下システムによってスカイツリー駅や東京ソラマチの商業施設等を含む地域の冷暖房をまかなっており、地下高効率冷暖房システムによって年間エネルギー消費が約44%削減、CO₂排出量は約48%削減できる国内最高レベルの省エネ効果を発揮しているとの説明を受けました。参加者は、係員の説明に熱心に耳を傾けていました。

地下施設見学後、地上350mに位置するスカイツリー天望デッキに上り、一部有志の方は450mの天望回廊に上られその眺めをお楽しみいただきました。

天望デッキ見学後、東京ソラマチの7階にあるソラマチ亭で少し遅めの昼食を取ったあと解散いたしました。

ご参加いただきました皆様、お疲れさまでした。



地下高効率冷暖房システム内での集合写真



ターボ冷凍機（放映された映像より抜粋）



スカイツリー天望デッキから撮影した板橋区周辺
高さ 地上350m



天望回廊から撮影した一枚
高さ 地上450m

平成26年度 雇用保険料率及び石綿一般拠出金について

- 平成26年4月1日から平成27年3月31日までの雇用保険料率は、平成25年度と変わらず次のとおりになります。

(平成26年度 雇用保険料率表)

事業者 の種類	①	②			①+②
	労働者負担 (失業等給付の 保険料率のみ)	事業主負担	失業等給付の 保険料率	雇用保険二事業の 保険料率	雇用保険料率
一般の事業	5 / 1000	8.5 / 1000	5 / 1000	3.5 / 1000	13.5 / 1000
農林水産清酒 製造の事業	6 / 1000	9.5 / 1000	6 / 1000	3.5 / 1000	15.5 / 1000
建設の事業	6 / 1000	10.5 / 1000	6 / 1000	4.5 / 1000	16.5 / 1000

- 平成26年4月1日より石綿健康被害救済法に基づく一般拠出金率が
0.02 / 1000に改正されます

一般拠出金については、申告事由（年度更新、事業廃止など）が生じた時点により、適用する率が定まることとなるため、平成26年度の年度更新時における一般拠出金の算定の取扱は以下のとおりとなります。

(1) 継続事業の取扱い

申告事由が年度更新（新年度）であるため、

平成25年度の賃金総額に新拠出金率（0.02 / 1000）を乗じた額

(2) 廃止事業の取扱い

拠出金率改正前（平成25年度中）に事業廃止をした事業が年度更新による確定清算をした場合、申告事由が廃止（旧年度）であるため、

平成25年度の賃金総額に旧拠出金率（0.05 / 1000）を乗じた額

(3) 平成25年度中に事務組合の委託替え、委託解除をした事業の取扱い

- ①事務組合委託事業場が委託替え、あるいは委託解除し個別事業場となった場合等（以下「委託替え等」という。）では、事業そのものは継続していたとしても、その事務の取扱い上、労働保険番号としては一旦確定精算処理を行うことから、事業廃止に伴う委託解除の場合を含めて上記（2）の取扱いと同様、申告事由が廃止（旧年度）となるため、

平成25年度の委託替え等の時点までの賃金総額に旧拠出金率（0.05 / 1000）を乗じた額

- ②委託替え等以降の部分は上記（1）の取扱いと同様、申告事由が年度更新（新年度）となるため、

平成25年度の賃金総額に新拠出金率（0.02 / 1000）を乗じた額

平成26年度の年金額が0.7%引下げられます

総務省から、1月31日発表された「平成25年平均の全国消費者物価指数」（生鮮食品を含む総合指数）の対前年比変動率は、0.4%となりました。

また、平成26年度の年金額改定に用いる「名目手取り賃金変動率※」は0.3%となりました。

この結果、平成26年度の年金額は、法律の規定に基づき、特例水準の段階的な解消（平成26年4月以降は▲1.0%）と合わせて、0.7%の引下げとなります。なお、受給者の受取額が変わるのは、通常4月分の年金が支払われる6月からです。

※「名目手取り賃金変動率」とは、国民年金法第27条の2及び厚生年金保険法第43条の2に規定されており、前年の物価変動率に2年度前から4年度前までの3年度平均の実質賃金変動率と可処分所得割合変化率を乗じたものです。実質賃金変動率と可処分所得割合変化率は、厚生年金保険法43条の2の規定により、標準報酬月額等及び保険料率のデータを用いて算出しています。

◆名目手取り賃金変動率（0.3%）

=物価変動率（0.4%）×実質賃金変動率（0.1%）×可処分所得割合変化率（▲0.2%）
（平成25年の値） （平成22～24年度の平均） （平成23年度の変化率）

《平成26年度の年金額の例》

	平成25年10月～ 26年3月（月額）	平成26年度 （月額） ^{*1}
国民年金（老齢基礎年金（満額）： 1人分）	64,875 円	64,400 円 （▲475 円）
厚生年金 ^{*2} （夫婦2人分の老齢基礎年金を含む 標準的な年金額）	228,591 円	226,925 円 （▲1,666 円）

*1 実際に引下げとなる額については、端数処理などの理由により、平成25年10月～26年3月の年金額の0.7%に相当する額と完全に一致するものではありません。

*2 厚生年金は、夫が平均的収入（平均標準報酬36.0万円）で40年間就業し、妻がその期間全て専業主婦であった世帯が年金を受け取り始める場合の給付水準です。

【年金額の改定ルールについて】

法律上、本来想定している年金額（以下「本来水準の年金額」という。）の改定ルールでは、年金額は現役世代の賃金水準に連動する仕組みとなっています。年金を受給し始める際の年金額（新規裁定年金）は名目手取り賃金変動率によって改定し、受給中の年金額（既裁定年金）は購買力を維持する観点から物価変動率により、改定することとされています。ただし、給付と負担の長期的な均衡を保つなどの観点などから、賃金水準の変動よりも物価水準の変動が大きい場合には、既裁定年金も名目手取り賃金変動率で改定される旨が法律に規定されています。

26年度の本来水準の年金額は、26年度の年金額改定に用いる名目手取り賃金変動率（0.3%）よりも物価変動率（0.4%）が高くなるため、名目手取り賃金変動率（0.3%）によって改定されます。

本来の年金額より高い水準（特例水準）で支払われている現行の年金額は、平成24年に成立した法律に基づき、特例水準の段階的な解消（▲1.0%）と本来の改定ルールにのっとりた年金額の上昇率（0.3%）を合わせた改定がされるため、▲0.7%の改定となります。

● お問い合わせ 厚生労働省年金局年金課 TEL：03-5253-1111

省エネ型設備への更新をお考えの事業者のための 経営改善支援策のご案内

～板橋区環境戦略担当課環境都市推進担当係～

平成26年度に活用できる、事業者の事業活動を支援するための、生産設備や空調・照明設備の更新支援をはじめとした、様々な産業支援策や環境施策について、経済産業省 関東経済産業局の職員をお招きしてご説明いただきます。

あわせて、板橋区や東京都の省エネ支援策などについてもご説明します。

日 時：平成26年3月17日（月） 14時30分～16時

場 所：ハイライフプラザいたばし 2階Aホール（板橋区板橋1-55-16）

JR埼京線「板橋駅」西口より 徒歩1分

都営地下鉄三田線「新板橋駅」A2・A3出口より 徒歩3分

東武東上線「下板橋駅」より 徒歩7分

定 員：80名（先着順）

内 容：・経済産業省の産業支援策や環境施策について
・板橋区や東京都の省エネ支援策について

対象者：事業者及びその支援に携わる方

費 用：無料

申 込：板橋区環境戦略担当課環境都市推進担当係（区役所6階③窓口）

問合せ 区ホームページにある申込書に必要事項を記入のうえ、直接またはFAX・Eメールでお申し込みください。

電話 3579-2622 FAX 3579-2589

Eメール s-kankyo@city.itabashi.tokyo.jp

ODF '14において 板橋区光学・精密機器企業紹介ブースを設置しました



光学設計・製造に関わる技術者の国際会議『ODF '14』が平成26年2月12日（水）～14日（金）板橋区立文化会館にて開催されました。

板橋産業連合会ではその開催に合わせて会館内2階ロビーに会員および板橋区内で光学・精密機器製造に携わる企業の紹介ブースを設置し、16社が展示を行いました。

出展会員企業一覧

安達光機(株)、(株)三星光機製作所、(株)タニタ、
(株)トプコン、理研計器(株)、リコーイメージング(株)、
リンテック(株)、(株)ルケオ（50音順）

東京商工会議所 新年賀詞交歓会にて表彰を受けました

1月29日に行われました東京商工会議所新年賀詞交歓会において、板橋産業連合会は加入50年目となる永年会員表彰を授賞しました。当日、吉川会長は入会した昭和38年当時の出来事から、区内産業の光学と関連してODF14国際会議などにふれ、受賞の謝辞を述べられました。

また、当会会員の(株)森田総商（代表 森田 稔氏）は中綴じ製本に使用されるステッチワイヤーの巻量増や製本機にネジレ無で供給できるボビンホルダーを開発、ワイヤー交換回数の削減等による生産効率アップが図られ、新しいビジネスモデルが確立されることから「板橋FineWorks」に認定されました。



永年会員表彰の様子



「板橋FineWorks」受賞の様子

板橋産業連合会の主な予定とお知らせ

開催日	行事	備考
3月6日（木）	板橋産連親睦ゴルフ大会	常陽カントリー倶楽部
3月14日（金）	板橋産連ボウリング大会	トミコシ高島平ボウル 募集中
3月25日（火）	3月役員会	3階会議室
4月25日（金）	4月役員会	3階会議室
5月16日（金）	板橋産業連合会定期総会	3階会議室

※ 板橋産連ホームページ4月1日リニューアルオープン 情報収集等に是非お役立て下さい